

弘前厚生学院成績評価等に関する指標（内規）

I. 教育課程及び履修方法等

（教科目及び授業時間数並びに単位数）

1. こども学科が開設する教科目及び単位数並びに授業時間数は、教科目表に定める。
2. 介護福祉科が開設する教科目及び単位数並びに授業時間数は、教科目表に定める。

（任意の教科目）

3. 学院は、関連する法令等に規定する教科目の他にも、必要と認める教科目及び単位数並びに授業時間を設けることができる。

（単位の算定）

4. 各学科の教科目の単位数は、次の基準によって算定する。
 - ①講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。
 - ②実習及び実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。

（試験）

5. 各学科の教科目について、必要な知識や技術等の習得を確認するために試験を実施する。
 - ①試験は、本学院の校舎又は施設、その他指定する場所において実施する。
 - ②試験の教科目、日時及び場所については、事前に学生に公表する。
 - ③教科目によっては、実技、レポート提出、作品提出等をもって試験とする。
 - ④試験に欠席した学生であっても、その欠席の理由が正当な場合には、追試験を受けることができる。また、初回の試験成績が合格点に満たない学生には、その教科目について再試験を行うことができる。ただし、追試験は1回、再試験は2回を限度とする。
 - ⑤学生は、追試験や再試験を受験する場合には、担任教員に1教科目1回につき1,000円の追試験料、再試験料を添え申込書を提出しなければならない。
 - ⑥追試験、再試験で合格に達した場合は、評価を可とする。
 - ⑦試験で不正を行った場合には、その教科目は不合格とする。
 - ⑧学生は、合格の評価を得た教科目でも、各学科、学年で開設する各教科目の授業時間数の3分の2以上を出席していない場合、授業料等を完納していない場合は、合格の評価を失効される。

（教科目の評価及び単位の認定）

6. 教科目の評価及び単位認定は、次のとおり定める。
 - ①各学科の教科目の成績は100点をもって満点とし、試験等の成績と日常の学習態度等を勘案して総合的に評価する。実習については、実習施設の実習評価に基づき総合的に評価する。
 - ②成績の評価及び判定は次のとおり区分し、合格と判定された教科目について所定の単位を認定する。

（成績）	（評価）	（判定）
80点から100点	優	合格
70点から79点	良	合格
60点から69点	可	合格
59点以下	不可	不合格

- ③成績の評価及び判定がされた後に、懲戒された場合、授業料等を完納しない場合、その他学院長が相当と認める場合には、評価及び判定を取り消すことができる。

(教科目の評価及び単位認定の条件)

7. 学生は、各学科における各教科目の授業時間数の3分の2（実習は5分の4）以上を出席し、学院で実施する試験等に合格しなければ、教科目の評価及び単位認定を受けることができない。
8. 前項において、学院長がやむを得ない事情によるものと判断した場合は、この限りとしない。
9. 学則に規定する授業料等を完納しない学生には、原則として成績の評価及び単位認定は行わない。

(履修方法)

10. こども学科を修了し卒業するためには、2年以上在学し、教科目表に定める全教科目を履修しなければならない。
11. 介護福祉科を修了し卒業するためには、1年以上在学し、教科目表に定める全教科目を履修しなければならない。
12. 学院の学生や科目履修生以外の者は、教科目を履修することができない。

II. 進級、卒業及び称号等

(進級)

13. こども学科1学年で履修する全教科目の単位を認定された学生は、学年末に開催する進級判定会議を経て学院長がこども学科2年への進級を認定する。なお、進級の要件に満たない学生については、今後の措置を教員会議を経て学院長が決定する。

(卒業)

14. こども学科2学年で履修する全教科目の単位を認定された学生は、学年末に開催する卒業判定会議を経て学院長がこども学科の卒業を認定する。なお、卒業の要件に満たない学生については、今後の措置を教員会議を経て学院長が決定する。
15. 介護福祉科で履修する全教科目の単位を認定された学生は、学年末に開催する卒業判定会議を経て学院長が介護福祉科の卒業を認定する。なお、卒業の要件に満たない学生については、今後の措置を教員会議を経て学院長が決定する。

(卒業証書)

16. 学院長は、各学科の卒業を認定された学生に卒業証書を授与する。

(称号)

17. 福祉専門課程こども学科を修了する学生には、専門士（福祉専門課程）の称号を授与する。

III. 成績評価等の管理及び通知

(成績評価表の管理及び通知)

18. 各学科学年において、担任教員が学生の教科別成績表を作成し、成績を集計し分布状況や順位等を算出し一元管理する。
19. 成績評価については、学年末に本人及び保護者等に書面等で通知する。

こども学科 1 学年成績の分布状況（令和 5 年度実績）

客観的な指標の算出方法					
<p>①教科目の成績評価については、各教科目ごとに授業概要に明記し各担当教員によって、筆記試験、実技試験、授業における発表や貢献度（受講態度含む）、制作物や各種レポートや宿題等の提出状況を勘案して採点（点数化）する。</p> <p>②担任教員が学年の評価成績表を作成し、在籍する学生ごとに合計点を集計し成績の分布状況や順位等を算出し一元管理する。</p>					
学科名	こども学科	学年	1	学年末在籍学生数	20人
成績の分布					
学年末順位	指標（点数）	人数	備考		
1位から5位	2366点から2261点	5人			
6位から10位	2260点から2134点	5人			
11位から15位	2133点から1987点	5人			
16位から20位	1986点から1860点	5人	※下位1 / 4		
<p>下位 1 / 4 に該当する人数 5人 下位 1 / 4 に該当する指標（点数） 1986点以下</p>					

こども学科 2 学年成績の分布状況（令和 5 年度実績）

客観的な指標の算出方法					
<p>①教科目の成績評価については、各教科目ごとに授業概要に明記し各担当教員によって、筆記試験、実技試験、授業における発表や貢献度（受講態度含む）、制作物や各種レポートや宿題等の提出状況を勘案して採点（点数化）する。</p> <p>②担任教員が学年の評価成績表を作成し、在籍する学生ごとに合計点を集計し成績の分布状況や順位等を算出し一元管理する。</p>					
学科名	こども学科	学年	2	学年末在籍学生数	27人
成績の分布					
学年末順位	指標（点数）	人数	備 考		
1 位から 7 位	4883点から 4630点	7 人			
8 位から 14位	4629点から 4354点	7 人			
15位から 21位	4353点から 4119点	7 人			
22位から 27位	4118点から 3840点	6 人	※下位 1 / 4		
<p>下位 1 / 4 に該当する人数 6 人 下位 1 / 4 に該当する指標（点数） 4118点以下</p>					

介護福祉科成績の分布状況（令和5年度実績）

客観的な指標の算出方法					
<p>①教科目の成績評価については、各教科目ごとに授業概要に明記し各担当教員によって、筆記試験、実技試験、授業における発表や貢献度（受講態度含む）、制作物や各種レポートや宿題等の提出状況を勘案して採点（点数化）する。</p> <p>②担任教員が学年の評価成績表を作成し、在籍する学生ごとに合計点を集計し成績の分布状況や順位等を算出し一元管理する。</p>					
学科名	介護福祉科	学年	1	学年末在籍学生数	12人
成績の分布					
学年末順位	指標（点数）	人数	備考		
1位から3位	2450点から2317点	3人			
4位から6位	2316点から2374点	3人			
7位から9位	2373点から2230点	3人			
10位から12位	2299点から2160点	3人	※下位1／4		
<p>下位1／4に該当する人数 3人 下位1／4に該当する指標（点数）2299点以下</p>					